

2010年12月1日

## ニュースリリース

日興アセットマネジメント株式会社

### 日本初、ETF のポートフォリオ情報を日次で開示

～ 「上場 225」、「上場 TOPIX」、「上場 Jリート」など、日本株や J-REIT を対象とした 9 本で ～

日興アセットマネジメント株式会社(取締役会長兼 CEO:ティモシー・マッカーシー、以下「日興 AM」)は本日、日興 AM が運用する上場投資信託(ETF)のうち、日本株や J-REIT の指数を対象とする 9 本の ETF について、前営業日時点での「ポートフォリオ情報」を日次で開示することを開始します。ETF の「ポートフォリオ情報」の日次での開示は、日本では初となります。

ETF の「ポートフォリオ情報」とは、具体的には、ETF に組み入れている株式などの「銘柄名」や「数量」、「評価額」や「純資産比(組入比率)」などの情報です。現在は、毎月末時点の情報を開示しており、日興 AM ウェブサイトにて、どなたでもご確認いただくことが可能です。

ETF の「ポートフォリオ情報」と組入銘柄のリアルタイムの株価情報などを基に、取引時点における当該 ETF の純資産価値を推定し、対象指数の純資産価値と比較するなどして、売買を決定する際の参考とすることは、国内外の投資家に広く採用されている投資手法の 1 つです。これまで月次だった「ポートフォリオ情報」の更新タイミングが日次になることで、情報の鮮度が増し、こうした推定の精度が向上することが期待されます。米国を中心とする世界の ETF 市場においては、「ポートフォリオ情報」は日次での開示・更新が一般的となりつつあるなか、日本では初めてとなる今回の取組みにより、対象となる ETF を売買される投資家のみなさまには世界水準の利便性をご享受いただけることとなります。

本日より日次での開示を開始するのは、「上場 225」や「上場 TOPIX」、「上場 Jリート」をはじめとする別掲の 9 本の ETF です。今後も日興 AM は、さまざまな指数に連動する ETF のご提供とその利便性の向上に努め、投資家のみなさまに幅広い投資機会をご提供してまいります。

#### <ご参考>

日興 AM ETF 専用ウェブサイト

<http://www.nikkoam.com/products/etf>

※上記より、各 ETF の個別ページにお進みいただき、メニューから「FUND DATA」をご選択いただくと、「ポートフォリオ情報」にアクセスいただけます。

以 上

■日次での「ポートフォリオ情報」の開示を開始する ETF 一覧

コード	分類	愛称	ファンド名	指数
1330	日本株	上場 225	上場インデックスファンド 225	日経平均株価
1308	日本株	上場 TOPIX	上場インデックスファンド TOPIX	TOPIX(東証株価指数)
1314	日本株	上場新興	上場インデックスファンドS&P日本新興株 100	S&P 日本新興株 100 指数
1316	日本株	上場大型	上場インデックスファンド TOPIX100 日本大型株	TOPIX100
1317	日本株	上場中型	上場インデックスファンド TOPIX Mid400 日本中型株	TOPIX Mid400
1318	日本株	上場小型	上場インデックスファンド TOPIX Small 日本小型株	TOPIX Small
1345	REIT	上場 Jリート	上場インデックスファンドJリート (東証REIT指数) 隔月分配型	東証 REIT 指数
1347	日本株	上場グリーン チップ 35	上場インデックスファンドFTSE日本 グリーンチップ 35	FTSE 日本グリーンチップ 35 指数
1698	日本株など	上場高配当	上場インデックスファンド日本高配当 (東証配当フォーカス 100)	東証配当フォーカス 100 指数

## ■リスク情報

- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

## ■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

### <取得・換金時にご負担いただく費用>

- お申込手数料 販売会社が独自に定める手数料とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
なお、当該手数料には消費税等相当額がかかります。
- 換金手数料 販売会社は、受益者が解約請求、交換を行なうとき、および受益権の買取りを行なうときは、当該受益者から、販売会社が定める手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を徴収することができるものとします。  
※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

- 信託財産留保額上限0.3%

### <取引所における売買時にご負担いただく費用>

- 売買手数料 取扱会社が独自に定める手数料とします。詳しくは、取扱会社にお問い合わせください。

### <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬(年率) 上限0.9975%(税抜0.95%)  
有価証券の貸付を行なった場合、受取った品貸料に0.525(税抜0.5)以内を乗じて得た額を加えます。
- その他費用 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、立替金の利息、受益権の上場に係る費用、標章の使用料 など

※ その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記手数料などの合計額については、投資家のみなさまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### 《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが運用するETFのうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(2010年12月1日現在)
- 上記のリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)などをご覧ください。

## ■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが弊社の運用するETFについてお伝えすることなどを目的とし、投資家のみなさまに当該ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者のみなさまに帰属します。当ファンドをお申込みの際には、契約締結前交付書面などを十分にお読みください。

## 日興アセットマネジメントについて

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会: (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興アセットマネジメント(以下、日興 AM)は、設立以来半世紀にわたり、わが国をリードする資産運用会社として、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、機関投資家のみなさまには投資顧問事業を通じて付加価値のある高品質なサービスを提供しています。

日興 AM の投資信託は、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など約 200 社に及ぶ販売会社のネットワークを通じて、お客さまに提供されています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する「ワールドシリーズ」プラットフォームを展開することで、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

1999 年に国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドを設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。

また、2010 年秋からは自社を「投信製作所」と名乗り、運用会社の役割と投資信託の使い方をわかりやすく伝える啓発活動を行なっています。

運用担当者の責任明確化、調査部門と運用部門の連携強化、リスク管理体制の整備など、これまで運用力向上のため行なってきた取組みが実を結び、リッパージャパン、アジアインベスター、R&I などの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興 AM グループ\*の運用資産残高は約 9.8 兆円(2010 年 9 月末現在)\*\*に上り、ロンドン、ニューヨーク、シンガポールに海外拠点を有しています。

\*「日興 AM グループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

\*\*日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)です。